

平成29年度 事業報告

特別養護老人ホーム シルバーセンター セレーノ総社
指定短期入所生活介護 ショートステイ セレーノ総社
障害福祉サービス事業 ショートステイ セレーノ総社

はじめに

「より幸福な老後を過ごしていただける様、笑顔と礼節を忘れず、地域と共に心豊かな介護を提供する“ほのぼの”とした家庭のような施設を目指します」運営方針のもと、介護・医務・相談・栄養の各部門が連携し、入居者の QOL 向上のためサービス提供を行いました。

以下、平成29年度事業の実施状況を報告いたします。

1. 延べ入居・利用者数等

『特別養護老人ホーム シルバーセンターセレーノ総社』

定員 50名

	合計	月平均	稼働率	前年稼働率	前年対比
4月	1,409人	46.9人	93.9%	97.2%	96%
5月	1,485人	47.9人	95.8%	97.1%	98%
6月	1,450人	48.3人	96.6%	98.8%	97%
7月	1,514人	48.8人	97.6%	100%	97%
8月	1,507人	48.6人	97.2%	96.5%	100%
9月	1,467人	48.9人	97.8%	90.0%	108%
10月	1,534人	49.4人	98.9%	95.1%	103%
11月	1,470人	49.0人	98.0%	98.4%	99%
12月	1,522人	49.1人	98.2%	94.5%	103%
1月	1,508人	48.6人	97.2%	88.7%	109%
2月	1,338人	47.7人	95.5%	92.2%	103%
3月	1,502人	48.4人	96.9%	93.4%	103%
合計	17,706人	48.4人	96.9%	95.2%	101%

『ショートステイセレーノ総社』

定員 20名

	合計	月平均	稼働率	前年稼働率	前年対比
4月	392人	13.1人	65.3%	62.2%	104%
5月	422人	13.6人	68.0%	61.9%	109%
6月	350人	12.0人	58.3%	65.0%	89%
7月	381人	12.1人	61.4%	73.5%	83%
8月	431人	13.9人	69.5%	66.3%	104%
9月	420人	14.0人	70.0%	58.3%	120%
10月	382人	12.3人	58.8%	66.6%	88%
11月	376人	12.5人	62.6%	66.8%	93%
12月	393人	12.7人	63.4%	64.5%	98%
1月	360人	11.6人	58.0%	62.4%	92%
2月	378人	13.5人	67.5%	54.8%	123%
3月	357人	11.5人	57.6%	43.8%	131%
合計	4,642人	12.7人	63.3%	62.2%	102%

2. 重点実施項目目標達成率

①介護部門

介護部門は、「ご利用者個々の満足度アップに努める」を目標に掲げ、ユニットごとに重点実施項目、チャレンジ目標を定め、特徴ある介護サービスを提供しました。

・ 介護部門 ピーチチーム

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
外出支援	前期 5名 後期 5名	本人様と話をし、行きたい場所への外出支援を行った	100%
余暇活動の充実のために、体操やレクリエーション、手作業の実施	1回/日	実施表を用いながら、体操やレクリエーションを実施した	81%
ご利用者様の状態、ご希望にあった日課の提供についてチーム会議で検証	対象者 1名/月	チーム会議にて話し合いを行い、認知症の進行状況などに応じて提供する日課を会議で検証し、変更対応を行った	100%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
下肢の浮腫や皮膚状態の悪化を防止していくために足浴の実施を行う	入浴日以外に実施 全員/ 1週間	足浴の実施によりどのような変化が起きているかを確認しながら対応を行った	89%
ご利用者1人ひとりにあつた水分量摂取、活動量の確保についてチーム会議で検証する	対象者 2名/月	水分量の摂取や活動量の確保がなぜ必要なかを考えながら、取り組みを行った	87%

【反省・今後の対策】

外出支援については、前期に複数名での外出となったため、後期は本人様の希望を確認しながら出来る限り個別の対応を行った。入居者の皆様にも喜んでいただけたと感じる。

足浴に関しては、その後の皮膚状態の変化を観察し、職員間で情報共有し、状態の悪化防止に努めた。今後も根拠ある介護が提供できるよう、働きかけていきたい。

・介護部門 マスカットチーム

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
希望に沿った外出支援、一時帰宅を目指す	前期：10名 後期：10名	お花見や紅葉狩り等季節を感じる外出や、一時帰宅・買い物などの希望に沿った外出支援を行った	97%
トイレ希望者ニーズに沿ったトイレ誘導ができる(共同トイレへの誘導)	8名/日中	ご入居者個々人に応じたトイレ誘導の方法により、自然排尿・排便を促すことができた	85%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
季節に応じた居室、模様替えを行う	3ヵ月に1回更新する	花菖蒲、七夕、コスモス、お正月の飾り等季節に応じた飾りつけを余暇活動として行った	100%

【反省・今後の対策】

外出をすることで気分転換を図り、外気に触れ発語多く、表情豊かに過ごして頂くことができた。トイレ誘導に関しては、ご利用者個々人の状態に応じた誘導を行うことにより、ご本人様の満足度の向上にも努めることが出来たと感じられる。季節に応じた模様替えを、入居者の方々と一緒に作成することで、達成感の取得や余暇時間の充実につなげることができた。

・介護部門 メロンチーム

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
アルバムを作成し、本人と思い出を振り返るとともに、ご家族にも日頃の様子を伝え満足度の向上に努める	毎月全員撮影	全ての月で入居者様全員の写真を最低1枚以上撮影し、アルバムを作成。本人又は家族にお渡しし喜んで頂くことができた	100%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
脱水予防の為水分1日1,000ccを目標とする	毎月2名 チーム会議にて検討	毎月対象者を決めて、検討し達成に努めることができた	100%

居室を季節にあった模様替えを行う	上半期2回 下半期2回	季節に応じた飾りつけを作成し、居室に飾り、季節感を感じていただいた	100%
------------------	----------------	-----------------------------------	------

【反省・今後の対策】

アルバムを作成し、日頃どんな生活をされているのか、どんな表情で過ごされているのかを知っていただいた。アルバム作成後のアンケートも実施し、満足度の向上に努めることができた。

脱水予防の取り組みについては、様々な検討を行ったが、今後入居される方々も脱水になりやすい方は大勢いらっしゃると思えるので、原因の追究や適切な対応方法を今後も模索していきたい。

②ショートステイ部門（障害福祉サービス事業も含む）

「ご利用者個々の満足度アップに努める」を重点目標としケアを提供しました。

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
家族会の実施	1回／上半期 1回／下半期	6月11日、12月17日に実施	100%
外出支援の実施	2回／上半期 2回／下半期	4月10日、7月7日、10月9日、11月24日実施	100%
季節ごとの作品作りを行う	4回／年	4月、7月、10月、2月に実施	100%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
持参物品管理に努める	紛失0件 破損0件	出来る限り紛失、お持ち帰りいただくのを忘れることがないよう努めた	83%
個別ケアの実施	1回／日	情報をしっかりと把握し、個別ケアの提供に努めた	100%

【反省・今後の対策】

家族会を実施し、交流機会の確保ができ・日頃の様子を知っていただくことができた。多数のご家族に参加していただきたいと考えていたが、ご家族が不在のケースも多く、今後は別の形でご利用中の様子を知っていただくようにしていきたい。

個別ケアのバリエーションを増やすよう考え、個々人に応じたケアを提供することができた。

③医務部門

「ご利用者個々の満足度アップに努める」を重点目標として看護を提供しました。

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
終末期（呼吸器疾患）における医的行為（酸素投与）の見直しと教育	前期：資料・マニュアル作成 後期：看護職員間情報共有 (1回/月)	看護職員間での情報共有を行い、呼吸器疾患における医的行為の見直しができた。各種研修を通じて他職種職員とも意見交換ができた。	75%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
日頃の環境整備を周知徹底し感染予防を図る	4月・5月：ラウンドチェックシート作成 6月から実施	ペーパーホルダーの設置個所を増やし、手洗いの重要性の認識を高める、日頃の環境整備の取り組みを行うなどし、各職員の感染予防への意識を高めることができた。	75%

【反省・今後の対策】

看護職員間及び他職種との意見交換により、医的行為の見直しと次年度への課題を見つけることができた。今後も看取りケアがより安心安全に実施ができるよう努めていきたい。

今年度は大きな感染症の発症もなく、各職員の意識向上と、迅速な対応ができるようになったと感じる。

④相談部門

「ご利用者個々の満足度アップに努める」を重点目標に入居者の相談援助を行いました。

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
待機者の状況確認を行う	4回/年	状況確認を行い、入居必要性の高い方などを把握しながら入居支援を行った	50%
アンケートを実施し、満足度の把握とサービスの質向上につなげる	1回/年	アンケートを実施し、外出の希望や、食べたい物を伺い、今後のサービスの質向上につなげている	100%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
特養入居待機者の面接を	入居待機者	随時待機者の面接を行い、円滑	100%

随時行い、スムーズな入退去支援ができる	3名	な入退去支援ができています	
---------------------	----	---------------	--

【反省・今後の対策】

アンケートの実施を行い、結果を職員に報告し、担当者会議の場で共有・検討するなどにより、今後のサービスの質向上につなげるよう働きかけを行った。本人が明確な意向を示すことができない方が多くなっており、どのように希望を把握していくか、満足度の向上に向けた課題であると考えている。

待機者に関しては、緊急性の高い方等を把握し、面接・入居につなげることができるよう配慮し、支援を行った。

⑤栄養部門

「ご利用者個々の満足度アップに努める」を重点目標に掲げ、各事業所の食事を提供しました。

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
イベント食の実施	3回/年	七夕や敬老会等のイベント食の提供を行った	100%
デザートバイキングの実施	4回/年	様々な種類のデザートを準備し、各部署で実施を行った	100%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
誕生日膳の提供 (特養・ショート・デイ・ケアハウス)	お誕生日者全員	お誕生日カードや、デザート提供、写真撮影を行った	100%
栄養だよりの作成	4回/年	定期的に作成、掲示を行った	100%

【反省・今後の対策】

クックチルを使用しながら、イベント時にはアレンジを加えることで、ご利用者に季節感を感じていただける食事の提供を心掛けた。

またデザートバイキングの実施により、好きな物を選んで食べる楽しみを持っていただくことで利用者の満足度アップに努めた。

⑥機能訓練

「ご利用者個々の満足度アップに努める」を重点目標に機能訓練を行いました。

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標及び目標の達成率は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
モニタリング(機能訓練) 作成時、計画表に沿い入居者と面談を行う	面談表作成し、5人/月ずつ対象	計画書に沿い面談を実施した。発語が難しい方については、状態観察行い改善を促した	97%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
チーム会議等にて歯科指導により口腔ケア指導を行う	ピーチ 5月11月 マスカット 7月12月 メロン 9月1月	各チームへの会議に参加し実演や資料での指導を行った	100%

【反省・今後の対策】

入居者との面談では、全員が会話のできる方ではないのでコミュニケーションがとれない方は、日頃からの様子をくみ取り改善ができるように配慮を行った。

歯科指導については、実践や資料による勉強会を行い、他職種からも「良かった」と感想を聞くことができた。感染症や肺炎等の発症予防につなげることができたのではと考えている。

3. 行事実施状況

月	主な行事	月	主な行事
4	家族会 お花見（各チームで実施） 誕生日会	10	運動会 お出かけ（外食） おやつ作り 誕生日会
5	家族会 お出かけ（安富牧場・リブ総社） おやつ作り 誕生日会	11	家族会 お出かけ（紅葉狩り・足守プラザ） 綿菓子作り 誕生日会
6	家族会 お出かけ（足守プラザ） 作品作り 誕生日会 デザートバイキング	12	クリスマス会 家族会 ショート家族会 誕生日会
7	夏祭り お出かけ（円通寺） 花火大会 誕生日会	1	お正月遊び 初詣 誕生日会
8	ショート夏祭り 誕生日会	2	節分行事 恵方巻き作り 誕生日会
9	敬老会 誕生日会	3	ひな祭り 誕生日会

4. 職員研修実施状況（施設内研修）

研修会	目的	参加人数
身体拘束廃止に関する研修会	身体拘束廃止に関する基礎知識の習得 虐待に関する正しい知識を身に付け、その予防を図る	多数参加
感染症等の予防に関する研修会 (年2回実施)	感染症・食中毒予防に関する基礎知識の習得	前期・後期 多数参加
褥創予防に関する研修会	褥創予防に関する知識の習得	多数参加
事故防止に関する研修会 (年2回実施)	介護事故等の発生防止に関する知識の習得	前期・後期 多数参加
新人職員研修	新人職員に対し、基本的な感染防止や事故防止及び業務に関する指導を行い、スムーズに業務に入ることができるようにする	入職時随時
看取りに関する研修	観察項目や緊急時の体制、看取り指針の理解を深め、適切な看取りケアが実践できるようになる	25名
緊急時勉強会	緊急時の対応方法を学び、安全安心な支援ができる技術を習得する	25名
他事業所研修	他法人の事業所に行くことで、地域性や社風などでの業務の違いを学ぶことができる	2名
ケアマネ資格取得勉強会	ケアマネ資格取得に関する知識の習得	5名
介護福祉士資格取得勉強会	介護福祉士資格取得に関する知識の習得	3名
消防署員による異物除去法	異物除去法の習得	3名
基本的な介護技術	基本的な介護技術の習得	多数参加
高齢者に多い疾病について	認知症の基礎的な知識の習得	多数参加

5. 職員研修（施設外研修）

研修会	目的	参加人数
喀痰吸引等研修	専門的な知識及び技術の習得	7名
医療的ケア教員講習会	介護職員への指導方法の習得	1名
平成29年度給食施設研修会	衛生管理を学ぶ	1名
拘縮が強い利用者の進行させない拘縮予防と有効なポジショニング	拘縮が強い利用者への進行予防や有効なポジショニングについて学ぶ	1名
認知症介護基礎研修	認知症についての基礎的知識の習得	2名
介護福祉士実習指導者講習会	実習生の受け入れ体制の構築	1名
RCA手法を学ぶ	医療現場における根本原因分析の手法を学ぶ	1名
社会福祉士実習指導者講習会	実習生の受け入れ体制の構築	1名
EPA就労ガイダンス	受入に必要な情報共有と検討すべき課題の把握	2名
感染症対策研修会	感染症の予防方法や対応について学ぶ	1名
生活の場から見る拘縮ケアの実際	拘縮のある方への適切なケア方法の習得	2名
介護職員フローアップセミナー	口腔機能や嚥下の仕組みについて学ぶ	1名
成年後見制度活用講座	成年後見制度の概要と実務に関する知識の習得	1名
新型インフルエンザ研修会	新型インフルエンザへの対策と課題を学ぶ	1名
人生の最終段階における意思決定を支援するために	様々な所属機関職員との意見交換	1名
平成29年度介護職員等による喀痰吸引等指導者フォローアップ研修	正しい知識と正しい手技を学ぶ	1名

6. 各種会議開催状況

名称	開催月	対象者	内容
主任・リーダー会議	毎月1回	主任・リーダー	各チームの連絡調整、問題提起・議論
サービス担当者会議	毎月1回程度	各専門職	ケアプランの検証
チーム会議	毎月1回	各チーム職員	問題提起、議論、行事の立案
栄養会議	毎月1回	管理栄養士、調理員、介護職員	日々の献立の検討、業務内容の検討、給食委員会への提案・議論・決議
マネジメントレビュー	年2回	当該年度担当者	品質マネジメントシステムの評価
看取りケア会議	毎月1回	各専門職	看取りケアの検証
改善会議	随時	係長以上の役職者	特養全般に関する、問題提起・議論
入所者判定委員会	2か月に1回及び随時	施設長、次長、介護支援専門員、生活相談員、介護職員、看護職員、栄養士、第三者委員	入居に関わる優先順位の決定
感染症対策委員会	3か月に1回及び随時	施設長、次長、介護支援専門員、生活相談員、看護職員、介護職員、管理栄養士、医師	感染症、食中毒予防及びまん延防止のための対策検討、研修の立案・実施
事故発生防止委員会 (安全委員会含む)	1か月に1回及び随時	施設長、次長、介護支援専門員、生活相談員、看護職員、介護職員、管理栄養士、医師	事件事例の収集、分析、再発防止策の検討・策定
褥瘡対策委員会	3ヵ月に1回及び随時	施設長、次長、介護支援専門員、生活相談員、看護職員、介護職員、管理栄養士、医師	予防のための計画の作成、実践、評価及び研修の立案・実施
褥瘡対策委員会	3ヵ月に1回及び随時	施設長、次長、介護支援専門員、生活相談員、看護職員、介護職員、管理栄養士、医師	予防のための計画の作成、実践、評価及び研修の立案・実施

		医師	
身体拘束廃止委員会	3か月に1回及び随時	施設長、次長、介護支援専門員、生活相談員、看護職員、介護職員、管理栄養士、医師	身体拘束廃止に向けての現状把握・改善についての検討及び研修の立案・実施
介護力向上委員会	1カ月に1回以上及び随時	施設長、次長、介護支援専門員、生活相談員、介護職員、看護職員、機能訓練指導員、管理栄養士	介護力向上に向けての知識・技術の伝達及び根拠に基づいた介護の提供につなげる取り組みの実施

平成29年度事業報告

ケアハウスセレーノ総社

・はじめに

「より幸福な老後を過していただける様、笑顔と礼節を忘れず、地域と共に心豊かな介護を提供する“ほのぼの”とした家庭のような施設を目指します」運営方針のもと、入居者のQOL向上のためのサービス提供を行いました。

以下、平成29年度事業の実施状況を報告します。

・1. 入居者の状況

(1) 階層別・月別利用人員内訳

階層の区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	155
2													
3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
4													
5				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
6													
7	2	1	1										4
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180

(2) 年齢別・性別の状況

平成30年3月31日現在

年齢性別	60～64	65～69	70～79	80～89	90歳以上	計	平均年齢
男			1人	1人	0人	2人	81.0歳

女			2人	9人	2人	13人	86.6歳
計			3人	10人	2人	15人	85.9歳

(3) 要介護度別の状況

平成30年3月31日現在

非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	4人	5人	4人	2人			

・2. 施設サービス

「ご利用者個々の満足度アップに努める」ことを重点目標に掲げ、重点実施項目、チャレンジ目標を定め、サービス提供を行いました。

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標は以下のとおりです。

重点実施項目	数値目標	実績	達成率
定期的なアンケート調査を実施し、入居者のニーズを把握する	2回/年	9月と3月に職員、行事、食事、環境等について、職員との面談方式とアンケート用紙への記述で実施しました。	100%
安心して安全な生活が送れるよう、個々の家族・関係機関と連携を図る	1回/2ヶ月	ご家族には面会時に普段の様子などを伝達し、特変時には、速やかに家族及び関係機関と連携を図りました。	100%
季節感のある外出行事を実施し、楽しみのある生活を送って頂く	4回/年 (参加率60%以上)	4月 11名 (73%) 5月 10名 (66%) 8月 10名 (66%) 11月 9名 (60%) 12月 11名 (73%) 1月 5名 (33%)	100%
チャレンジ目標	数値目標	実績	達成率
活気よく生活して頂けるよう、ラジオ体操の実施	月25回以上	朝食前のラジオ体操が定着し、毎日実施できています。	100%
快適に生活して頂けるよう、環境づくりを行う	2回/年	廊下共用スペースに観葉植物を置き、ソファを立ち上がりやすい一人掛けの椅子に変更しました。また分別用のゴミ箱設置の要望があり、洗濯場に設置しました。	100%

感染症予防の知識を深める	勉強会参加 2回/年	6月と11月に教育員会主催の感染症予防の勉強会に参加しました。	100%
--------------	---------------	---------------------------------	------

【反省・今後の対策】

アンケートを実施し個々のニーズの把握に努めた。食事に対する要望が一番多く、日々の生活の中で、何よりも楽しみになっていると感じた。今後も厨房と連携を図っていく。また毎日のラジオ体操や定期的な外出行事を実施し、活気ある時間が過ごせている。体調面など、身体的な不安については各関係機関と連携を図り、安心して生活して頂く事ができた。今後も入居者の要望を取り入れながら支援を行っていく。

【行事实施状況】

別紙参照

・ 3. 職員の資質向上

職員の資質向上のため、施設内外の研修に参加し、職員の資質の向上を図りました。

研修会	目的	参加人数
事故防止勉強会	事故防止のポイント及びリスクマネジメントの重要性について知識を深める。	1名
感染症予防勉強会	食中毒及びインフルエンザ等の感染症予防や対応策について知識を深める。	1名

・ 4. 各種会議・委員会開催状況

以下のように行い、事業所間の連携強化を図り、施設全体での対応方法等を検討しました

名称	開催月	内容
役職者会議	1回/月	部署間の情報共有
厨房会議	1回/月	厨房との連携
事故発生防止委員会	1回/月	事件事例の検討、発生予防策の検討
感染症予防委員会	1月、4月、7月、10月	感染症発生予防策、蔓延防止策の検討

平成 29 年度 ケアハウス行事実施状況

	行事	健康管理	衛生管理	その他
4月	・買物会 ・お花見	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒	
5月	・買物会 ・外出会（きびじ鶴の里）	・体重測定 ・リハビリ体操	・居室害虫駆除 ・洗濯機消毒	
6月	・買物会 ・茶話会	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒	・話し合い会茶話会形式 （事務費・定期健康診断）
7月	・買物会 ・七夕 ・夏祭り	・入居者定期健康診断 ・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒	・事務費決定通知
8月	・買物会 ・外出会	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒	
9月	・買物会 ・外出会	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒	
10月	・買物会 ・茶話会	・インフルエンザ予防接種 ・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒	・話し合い会茶話会形式 （予防接種・感染症予防）
11月	・買物会 ・紅葉狩り（豪溪・空港） ・干支作り	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒 （1回/2週）	
12月	・買物会 ・忘年会&クリスマス会	・体重測定 ・リハビリ体操	・居室害虫駆除 ・洗濯機消毒 （1回/2週）	
1月	・買物会 ・初詣（総社宮）	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒 （1回/2週）	
2月	・買物会 ・節分会	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒 （1回/2週）	
3月	・買物会 ・茶話会	・体重測定 ・リハビリ体操	・洗濯機消毒 （1回/2週）	・話し合い会茶話会形式 （翌年行事計画について）

平成29年度

デイサービス事業報告書

デイサービスセンターセレーノ総社

通常模型通所介護

入浴介助加算

サービス提供体制強化加算(Ⅰ)ーイ

介護職員処遇改善加算Ⅰ

[利用定員] 月・水・木・金 45名、火・土 40名

□営業日数 24日～27日/月

1. 介護度別月間実利用者数(介護保険のみ)

	介護・予防(みなし)									通所予防 (基準緩和)		合計		前年対比
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	要支援1 (みなし含む)	日割	要支援2 (みなし含む)	日割	要支援1	要支援2	29年度 (40・45名)	28年度 (35名)	
4月	32	16	12	4	0	16	0	33	1	0	0	114	76	150.00%
5月	34	15	13	3	0	13	1	32	2	1	1	115	76	151.32%
6月	32	14	10	1	0	14	0	30	1	1	2	105	75	140.00%
7月	31	14	9	2	0	14	0	32	1	2	3	108	75	144.00%
8月	29	13	10	2	0	14	0	28	0	2	6	104	73	142.47%
9月	30	14	9	3	0	9	2	28	0	3	8	106	75	141.33%
10月	30	13	8	2	1	8	0	24	1	6	10	103	73	141.10%
11月	27	17	8	0	1	5	0	20	2	8	11	99	77	128.57%
12月	28	17	8	1	1	3	0	20	1	8	11	98	73	134.25%
1月	28	16	8	2	1	3	0	18	1	6	10	93	71	130.99%
2月	28	18	8	3	2	3	0	14	1	7	10	94	81	116.05%
3月	29	18	8	3	2	2	0	17	0	6	8	93	115	80.87%
平均 (人)	29.83	15.42	9.25	2.167	0.667	8.667	0.25	24.67	0.917	4.167	6.667	102.7	78.33	133.41%

2. 重点目標

「ご利用者個々の満足度アップに努める」

3. 平成29年度重点実施項目 目標達成率

①満足して頂けるレクリエーションの考案・実施。:2種類/月-----100%

・前期:100%

・後期:100%

【評価】

月間デイ、グッズの購入など、週替わりで利用者の状態に合う様アレンジして実施し、利用者様も楽しく参加されていました。

②安定した稼働率(実績/予定)の確保。:月90%-----50%

・前期:50%

・後期:50%

【評価】

稼働率90%に満たない月が1年通して6カ月ありました。満たなかった6か月の稼働率は78%が1回、88%が3回、89%が2回。今年度は、4月にインフルエンザの感染者が多く出たことと長期入院の方が多かったことで稼働率が低かったと考えます。また、要支援者の利用が増えたことで、自己都合で休まれる方など要因が重なり低い達成率となりました。

③利用者のニーズ、満足度把握を目的としたアンケートの実施。:年2回/4月、10月

-----50%

・前期:0%

・後期:100%

【評価】

4月にインフルエンザの感染者が発生し、対応に追われアンケートの実施が出来ませんでした。反省を踏まえ10月に実施。利用者・家族様の要望・意見を日々の業務に取り入れより良いサービスに繋げていきます。

チャレンジ目標

①季節感を味わえる余暇活動。:1種類/月-----75%

・前期:67%

・後期:83%

【評価】

5月、6月、11月は実施出来ていないので、忘れの無い様通所会議にて行事等の確認をしっかりと行い、実施出来るように計画の共有をしていきます。

① 事業者内保育園児との交流活動の実施。:1回/3ヶ月-----100%

・前期:100%

・後期:100%

【評価】

体操やレクリエーションでのふれあいや、行事の参加、一緒に花の苗植え送迎時の挨拶等交流が出来ました。利用者様も笑顔や元気が出ると喜ばれました。今後も続けて行きたいと考えます。

行事の実施

◇介護保険・第1号通所事業

4月:ドライブ	10月:ガーデンおやつ
5月:ガーデンおやつ	11月:ドライブ
6月:運動会	12月:クリスマス会
7月:おやつ作り(七夕)	1月:趣味活動
8月:夏祭り	2月:おやつ作り
9月:敬老会(演劇)	3月:趣味活動

【評価】

予定していた行事については、それぞれ職員の個性が出て利用者様にも参加を促し、今年度は参加型の物を取り入れ楽しく実施できた。来年度は、個人の身体機能を活かしていくための体操プログラムやストレッチ等職員の知識・技術を習得する機会を持ち実施していきます。

職員研修

4月	10月:
5月:事故防止勉強会	11月:感染症勉強会
6月:高齢者に多い疾病(認知症)の勉強会	誤嚥・緊急時対応勉強会
7月:資格取得勉強会(ケアマネ)	12月:事故防止勉強会、認知症の分類・特徴
感染予防勉強会(食中毒)	1月:
8月:	2月:
9月:褥瘡予防勉強会	3月:

【評価】

事故防止、感染予防、褥瘡予防の基礎知識を再確認し、過ごしやすい環境を維持して行きました。また、職員のスキルアップの勉強会にも参加できて良かった感じます。

各種会議の開催

◇通所会議 月1回実施。

◇総合事業対象者のケア会議の出席:第一木曜日・第三木曜日

平成29年度事業報告書

ケアプランセンター

従業員数

平成3

0年3月31日現在

職種	専従	兼務	合計	備考
管理者	0人	1人	1人	
介護支援専門員	3人	1人	4人	

1. 実績数・契約数

月	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年度合計	前年度対比
4月		40	33	15	7	3	98	84	116.7%
5月		39	24	14	10	2	89	87	102.3%
6月		40	30	15	5	4	94	89	105.6%
7月		41	29	16	7	5	98	91	107.7%
8月		37	30	15	7	5	94	97	96.9%
9月		38	30	16	8	5	97	97	100%
10月		37	32	14	7	7	97	95	102.1%
11月		37	32	14	7	7	97	99	98.0%
12月		39	35	13	9	5	101	99	102.0%
1月		38	34	15	10	7	104	97	107.2%
2月		39	37	15	12	5	108	100	108%
3月		41	37	17	12	6	113	95	118.9%
合計		466	383	179	101	61	1190	1130	105.3%

2. 重点目標

ご利用者個々の満足度アップに努める。

3. 平成29年度重点実施項目 目標達成率

1	居宅支援についてのアンケート実施	1回/半年	前期 100%
---	------------------	-------	---------

○評価

ケアマネジャー業務の実態、問題点を把握し、今後支援していく上での参考とする目的

でアンケート調査を行なう。ほぼ8割の利用者と家族がケアマネの対応、訪問滞在時間などに満足してもらえていることが解り、今回の結果を踏まえ、下半期のアンケートは実施なし。

2	ケアマネの資質向上を目的とした事例検討会を開催し、スキルアップを図る。	1人1回以上/年	前期 100% 後期 50%
---	-------------------------------------	----------	-------------------

○評価

新規獲得に追われてしまい、事例検討会ができないこともあった。来年度は、質の高いケアマネジメントができるように実施していきたい。

3	総合事業対応デイ、地域密着型デイの施設見学を行なう。	1回/2ヶ月	前期 66.7% 後期 100%
---	----------------------------	--------	---------------------

○評価

施設見学については、調整がつかず、できないことがあった。今後も施設見学と介護現場に足を運び、事業所と連携を図り、利用者の満足度アップに努めていきたい。

チャレンジ目標 目標達成率

1	1人あたり平均30人を目指す	120人/月 90人/月	前期 85.4% 後期 100%
---	----------------	-----------------	---------------------

4月-101人	5月-100人	6月-97人	7月-101人
8月-96人	9月-99人	10月-98人	11月-97人
12月-102人	1月-100人	2月-99人	3月-100人

○評価

9月からケアマネが3人体制で数値目標90人/月計算。毎月の新規受け入れもスムーズにできている。

2	外部研修に参加し、ケアマネの資質向上を図る。	1人1回以上/半年	前期 100% 後期 66.7%
---	------------------------	-----------	---------------------

○評価

外部研修に参加できないことが多かった。今後は資質の向上を図る為に積極的に参加したい。

4. 居宅会議実施状況

毎月1回実施	内容：実績確認、事業予定の確認、来月の予定について
--------	---------------------------

5. 職員の資質向上

研修参加による知識の習得に努めました。

月	研修名	参加目的	参加人数
5月	介護予防・日常生活支援総合事業について	住民主体の生活支援などについて学ぶ	1名
6月	介護博覧会 おかやま マッチングプラザ 2017	最新の福祉機器などを見て学び 社会資源の知識を深める	4名
	ケアマネに求められるインフ ォーマルサービスの活用術	インフォーマルサービスの活用術を学 ぶ。	2名
	アセスメントツールの理解と 活用	アセスメントツールを学ぶ	1名
	平成30年度制度改定について	今後の動向について学ぶ	1名
7月	ケアマネ会 事例検討	事例を通して支援の方法を学ぶ	2名
8月	総社市高齢者給食サービス試 食会について	給食サービスについて学ぶ	2名
9月	ケアキャビネット（きびきび） 初心者・実践者 パソコン教室	ケアキャビネットを知り実践方法を学 ぶ	2名
10月	高齢者の口腔ケアについて	口腔のアセスメントのポイントを学ぶ	1名
11月	インフォーマル活用術、医療介 護同時改正の見直し	社会資源とその活用方法について学ぶ	1名
	人生の最終段階を支える人た ちへ	多職種で行なう看取りについて学ぶ	1名
1月	トラブル対処法を学ぶ	様々なトラブルの解決法について学ぶ	1名
3月	法律の読み方勉強会	法律関連用語に慣れる	1名
	第2回 ケアマネジャー大会	制度改正について学ぶ	1名

平成29年度 事業報告

総社市西部地域包括支援センター

平成28年度は「利用者個々の満足度アップに努める」の重点目標に向かい業務にあたりました。予防マネジメント業務および地域支援事業の実績と併せ、次のとおり報告いたします。

月	契約数	実績数	支援1	支援2	稼働率
4	132	123	42	81	93.2
5	130	122	44	78	93.8
6	130	123	42	81	94.6
7	132	126	41	85	95.5
8	136	129	41	87	94.9
9	141	131	36	85	92.9
10	145	139	37	102	95.9
11	145	138	39	99	95.2
12	140	133	36	87	95.0
1	141	131	37	94	92.9
2	135	122	35	87	90.4
3	138	130	35	95	94.2

1. 要介護度別利用者推移 (直営数のみ)

2. 重点実施項目評価

実施項目	数値目標	実績	達成率
積極的な広報により、総合相談件数を増やす。	38件/月以上(3職平均)	上期は2ヵ月のみ38件を下回り66% 下期は3ヶ月38件を下回り50%	58%
要介護認定申請件数を増やす。	3件/月以上	前期後期とも3件以上実施。多い月では8件の新規申請を行った。	100%

《チャレンジ目標》

目標	数値目標	実績	達成率
医療機関へ包括リーフレットを配布し、顔の見える関係づくりをする。	市内の医院(内科・整形外科)	前期28医院に対し2件のみ実施。 後期は9件実施。	39%

体力測定記録用紙を全更新する。	体操会場（19会場）／年間	5月に20会場に増えた。2会場が体力測定を中止されたため実施できず。	90%
消費者被害注意喚起を積極的に行う。	100件／月以上	前期は100%。後期1月に50件のみと目標を下回った。	92%

目標実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
実態把握数	5	6	3	10	5	4	33
要介護認定申請数	5	4	3	4	7	5	28
病院訪問	2 / 35	0 / 35	0 / 35	0 / 35	0 / 35	0 / 35	2 / 35
消費者被害予防啓発	250	100	140	100	140	150	880
体力測定結果評価	2 / 19	4 / 20	6 / 20	2 / 20	0 / 20	2 / 20	16 / 20
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実態把握数	4	7	5	12	18	11	57
要介護認定申請数	3	8	6	4	7	5	33
病院訪問	2 / 35	2 / 35	4 / 35	0 / 35	1 / 35	0 / 35	11 / 35
消費者被害予防啓発	360	100	175	50	350	135	1170
体力測定結果評価	2 / 20	0 / 20	2 / 20	0 / 20	0 / 20	0 / 20	20 / 20

《 契約数・解約数 》

月	契約	解約	月	契約	解約
4	5	4	10	7	5
5	2	3	11	5	3
6	2	2	12	2	6
7	6	0	1	4	8
8	5	4	2	4	3
9	7	4	3	7	4

計：契約数：54（29）

解約数：43（33）

（ ）内は28年数

いきいき講座・体力測定実施数

月	開催回数	参加人数	月	開催回数	参加人数
4	1	9	10	4	50
5	5	43	11	5	65
6	7	73	12	7	55
7	4	44	1	1	8
8	0	0	2	1	10
9	4	42	3	0	0

総参加数：399人（昨年：308人）総開催数：39回（昨年：30回）

認知症サポーター養成講座開催実績

	会場	月日	参加人数
1	山田地区	10月31日	11
2	山田地区	11月11日	10
3	総社西小学校	2月9日	37
計	3回		58人

3. 職員の資質向上

積極的な研修参加による知識の習得とネットワークの構築に努めました。

月	研修名	参加目的	参加数
6月	主任ケアマネ部会	自立支援に資するケアプラン作成能力を高める	1名
7月	アセスメントツール研修	効果的実用的なアセスメントと作成方法について理解を深める	1名
	中国ブロック地域包括支援センター協議会	包括支援センター業務に必要な知識を習得する	2名
8月	総社市高齢者給食サービス試食会	給食サービスの献立と内容を知り、適切な情報提供に努める	2名
	キャラバンメイト養成研修	認知症サポーター養成講座を開催できるスキルを習得する	1名
9月	個別ケア会議スキルアップ研修会	より効果的な地域ケア個別会議を開催できるよう理解を深める	1名
10月	いきいき100歳体操リーダー情報交換会	地域との顔の見える関係づくり	1名
11月	地域生活支援研修会	精神障害者の生活支援技術を高める	1名
12月	相談援助技術研修会	対人援助における面談技術を高める	1名

	総社市介護予防通所事業所情報共有会議	通所事業所のサービス提供の実際と行政の取り組みを知る	1名
1月	空き家について説明会 (西部圏域合同研修会)	総社市の空き家対策を知る	6名
	新地域包括支援センターシステム操作説明会	新システム入れ替えに伴い、適切な操作説明を受ける	6名
3月	ケアマネジャー大会	30年度介護保険制度改正の理解を深める	2名
	基準緩和型サービスに関する研修会	総社市基準緩和型サービスについて理解を深める	2名
	総社市集団指導	介護保険改正に伴う介護予防ケアマネジメントの説明を受ける	1名

4. 会議開催・内部研修実施状況

目的：自立支援に向けたケアマネジメントについて理解を深めることで、職員1人1人の資質向上を目指すとともに、総合事業の制度理解を目的に実施しました。

開催日	内 容
4月4日	包括会議「事業計画・ISO目標確認」
4月27日	「夢の家縁」見学
5月25日	事故防止勉強会
6月1日	福祉用具勉強会
6月13日	感染症予防勉強会／高齢者に多い疾病について
6月28日	委託先居宅・包括合同研修
7月18日	総合事業におけるケアプラン作成について
8月17日	身体拘束廃止勉強会
8月26日	「移乗動作について」／アセスメントツール研修
9月21日	褥瘡予防勉強会
10月31日	伝達講習 個別ケアスキルアップ研修
11月21日	緊急時対応勉強会／感染症予防勉強会
12月21日	事故防止勉強会
1月22日 1月23日	地域包括ケアシステム勉強会
1月23日	「空き家について」
3月24日	伝達講習 介護予防マネジメント業務について

5. 外部会議開催・参加状況（3職種業務）

会議名	実施参加状況	内容
民児協	毎月4回（5地区）	民生委員・主任児童委員との連絡会議
小地域ケア会議	2か月に1回（5地区）	台帳整備 システム図作成 生活支援の検討など
西部圏域ケア会議	4か月毎	小地域をまとめる会議 （社協主催）
地域包括ケア会議	4か月に1回参加	圏域をまとめる全体会議 （市主催）
主任ケアマネ会議	隔月開催	個別ケア会議の推進ほか
社会福祉士連絡会議	隔月開催	社会福祉士～包括全体の連絡
保健職会議	不定期開催	医療連携・認知症予防ほか
運営推進会議	つどいの家・苺の里は隔月開催。 デイサービスてまりは半期毎に開催。	情報交換・運営状況の確認 地域PR
生活困窮支援対策会議	4ヵ月毎	生活困窮者に対する支援協議とその取り組み報告
山田地区SOS認知症高齢者検索模擬訓練	3職種：3人 プランナー：1人	認知症高齢者への声掛けと検索の訓練を実施
西部圏域合同研修会	包括全員参加	社協と合同で企画・開催する。 市の空き家対策について学ぶ
包括連絡会議	隔月開催 3職種：3人	市からの助言・連絡・情報交換 意見交換・他
虐待ケース会議	随時開催 3職種出席 行政・社会福祉協議会	虐待ケースへの対応協議 市への報告

平成30年度 事業計画

地域密着型特別養護老人ホーム 結いのさと 愛家里

1 基本方針

『より幸福な老後を過ごしていただける様、笑顔と礼節を忘れず、地域と共に心豊かな介護を提供する“ほのぼの”とした家庭のような施設を目指します』

2 平成30年度 各部門別重点目標

部門名	重点目標
介護	入居者が生きがいを感じられる時間づくり
相談	
医務	
栄養	

3 平成30年度重点実施項目

(1) 介護部門 こもればユニット、うららかユニット、ひだまりユニット

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標
お誕生日をお祝いし、入居者の願いをかなえる。	1回／入居者全員
ケアプランに余暇時間の過ごし方や役割を具体的に組み入れ担当者会議にて検証する。	1回／6か月
チャレンジ目標	数値目標
地域への外出や地域との交流行事に参加する。	1回／2か月
外部研修に参加し、ユニットケアのスキルアップを図る。	1回／正規職員

(2) 相談部門

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標
円滑にサービスの提供ができるよう、ユニットリーダー会議を開催し、ユニット間及び多職種連携を図る。	1回／1月
毎日ユニット訪問を行い、入居者及び介護職員の状況把握を行う。	毎日

チャレンジ目標	数値目標
待機者確保及び連携を図るため、他法人の相談員と情報交換を行う機会を設ける。	1回／3か月

(3) 医務部門

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標
毎日のユニット訪問、毎月のユニットリーダー会議に参加し、情報の共有を図り、疾病の早期発見と予防に努める。	毎日、1回／1月
チャレンジ目標	数値目標
緊急時の介護対応について勉強会を通して周知徹底する。	1回／半年

(4) 栄養部門

今年度の重点実施項目、チャレンジ目標は以下の通りです。

重点実施項目	数値目標
毎日、入居者及び職員と話をする機会を自ら設け、情報交換を行う機会を設ける。	毎日
チャレンジ目標	数値目標
入居者と共におやつ作りなどを行う。	1回／各ユニット毎

4 行事实施計画

月	こもれば ユニット	うららか ユニット	ひだまり ユニット	相談/栄養	全体行事
4	誕生日会	誕生日会	誕生日会		
5	誕生日会	誕生日会	誕生日会	運営推進会議	家族会
6	誕生日会	誕生日会	誕生日会		
7	七夕 誕生日会	七夕 誕生日会	七夕 誕生日会	運営推進会議	セレーノ総社 夏祭り
8	納涼会 誕生日会	納涼会 誕生日会	納涼会 誕生日会		
9	敬老会 誕生日会	敬老会 誕生日会	敬老会 誕生日会	運営推進会議	家族会

10	秋祭り 誕生日愛	秋祭り 誕生日会	秋祭り 誕生日会		
11	誕生日会	誕生日会	誕生日会	運営推進会議	
12	忘年会 誕生日会	忘年会 誕生日会	忘年会 誕生日会		家族会
1	新年会 誕生日会	新年会 誕生日会	新年会 誕生日会	運営推進会議	
2	節分 誕生日会	節分 誕生日会	節分 誕生日会		
3	ひな祭り 誕生日会	ひな祭り 誕生日会	ひな祭り 誕生日会	運営推進会議	

5 職員研修計画

月	全体	新人職員 研 修	スキル アップ研修	外部研修
4	職員倫理	・オリエンテーション ・ユニットケア研修	緊急時研修	
5	事故防止			
6	感染予防			UR 研修
7				
8	身体拘束		介護技術研修	
9	褥瘡予防	フォローアップ研修		
10			緊急時勉強会	各専門職ユニッ トケア研修
11	感染防止			
12	事故防止			UR 研修
1			看取り介護研修	
2				
3		フォローアップ研修		

6 各種会議・委員会開催計画

日々の支援と入居者と職員間、職員相互の人間関係さらに各職種の業務を円滑に、また合理的な施設の管理・運営を進めるために意見交換や検討を行い、職員の意思を反映させながら良い施設作りを進める。

名称	開催月	対象者	内容
ユニットリーダー会議	毎月1回	施設長、介護支援専門員、生活相談員、ユニットリーダー、看護職員、栄養士	施設全体の課題の共有と改善の検討
ユニット会議	毎月1回	各ユニット職員	ユニット毎の課題の共有と改善の検討、行事等の立案
マネジメントレビュー	年2回	施設長、ユニットリーダー	法人全体の品質マネジメントシステムの評価
サービス担当者会議	毎月1回	介護支援専門員、生活相談員、介護職員、看護職員、栄養士	ケアプランの検証
入所判定委員会	1回/2か月及び随時	施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護職員、栄養士	入居に係る優先順位の決定及び特例入所の検討
運営推進会議	1回/2か月及び随時	施設長、生活相談員、ユニットリーダー、利用者代表、利用者家族、総社市職員等	施設の活動報告、評価
感染症対策委員会	1回/3か月及び随時	施設長、介護支援専門員、生活相談員、ユニットリーダー、看護職員、栄養士、医師	感染症、食中毒予防及びまん延防止のための対策検討、研修の立案、実施
事故発生防止委員会	1回/3か月及び随時	施設長、介護支援専門員、生活相談員、ユニットリーダー、看護職員、栄養士、医師	事故事例の収集、分析、再発防止策の検討及び策定
褥瘡対策委員会	1回/3か月及び随時	施設長、介護支援専門員、生活相談員、ユニットリーダー、看護職員、栄養士、医師	予防のための計画の作成、実施、評価及び研修の立案、実施

名称	開催月	対象者	内容
身体拘束廃止委員会	1回/3か月及び随時	施設長、介護支援専門員、生活相談員、ユニットリーダー、看護職員、栄養士、医師	予防のための計画の作成、実践、評価及び研修の立案、実施
処遇委員会	月1回以上	全職員	職員処遇に関すること
環境整備委員会			環境整備、防災に関すること
行事、ボランティア、広報委員会			家族会の運営に関する企画立案、ボランティア受け入れ、各種広報に関すること
教育委員会			職員教育の立案、運営に関すること
役職者会議	月1回以上	各事業所役職者	法人全体の課題の共有と改善の検討

平成29年度事業報告

つどいの家 愛家里

1. 利用者の状況

登録定員 25名

通い定員 15名

宿泊定員 5名

○要介護度別 利用者数（登録定員25名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
要支援2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護1	7	7	6	6	5	4	4	4	5	4	4	4
要介護2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0
要介護4	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
更新中	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
利用者数	12	11	10	10	9	6	6	6	5	7	7	6
入院・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
登録者数	12	11	10	10	9	6	6	6	7	7	7	6
平均介護度	2.1	2.1	1.6	1.6	1.7	1.0	1.0	1.4	1.3	1.4	1.4	1.0

○サービス種別 総数（通い定員15名 宿泊5名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通い	144	148	137	134	112	69	65	55	55	50	59	40
宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	介護	177	159	171	92	89	93	89	53	49	56	66
	支援	13	0	0	0	0	0	0	0	15	5	0

○稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27年度 稼働率(%)	76	68	68	64	56	68	72	68	60	60	72	72
28年度 稼働率(%)	72	76	84	88	80	80	68	68	72	72	64	64
29年度 稼働率(%)	48	44	40	40	36	24	24	24	28	28	28	24

2. 平成29年度重点目標

「ご利用者個々の満足度アップに努める。」

3. 平成29年度 重点実施項目目標達成率

重点実施項目

	実施項目	数値目標	実績	達成率
1	地域へのお出かけや行事に参加する。	1回/月以上	4月：お花見 5月：ばら園 6月：清音フラワーロード 7月、10月：買い物（リブ21） 11月：紅葉狩り 12月：玉島へドライブ 1月：初詣 3月：農マル園芸	75%
2	個々職員が外部研修へ意欲的に参加し、伝達講習を行う。	1人1回以上/年	9月：3名参加 12月：4名参加 3月：全員参加	100%

チャレンジ目標

1	ご家族へ月間行事予定表を配布する。	毎月	毎月請求書と同封しお渡しした。	100%
2	ご利用者と一緒におやつ作りを行う。	2回以上/月	4月：桜ゼリー、クッキー 5月：牛乳くずもち、マシュマロムース 6月：あじさいゼリー、和パフェ 7月：七夕ゼリー、ハートのアメリカンドッグ 8月：のし梅、そうめん流し 9月：白玉団子、フルーツカップケーキ 10月：コーヒーゼリー、クレープ 11月：きゃあ餅、りんごのカaramelケーキ 12月：マドレーヌ、キャンドルサンド 1月：紅白クッキー、チョコレートフォンデュ 2月：バレンタインのハートチョコ、マッシュポテトのオープンサンド 3月：姫まき、パン作り	100%

4. 行事、愛家里勉強会実施状況

月	行事	その他行事	勉強会
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会(2名) ・カフェイベント ・お花見 ・おやつ作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージ(毎週火曜日) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会(1名) ・カフェイベント ・お出かけ(ばら園) ・おやつ作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回運営推進会議 ・総社西小学校運動会見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署員による研修 ・事故防止
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェイベント ・お出かけ(清音フラワーロード) ・おやつ作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽療法(毎月第1水曜日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い疾病について(認知症) ・感染症予防
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェイベント ・七夕祭 ・お出かけ(買い物) ・おやつ作り ・生花教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回運営推進会議 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェイベント ・そうめん流し ・おやつ作り ・生花教室 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な介護技術(移乗介助) ・身体拘束廃止
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会(2名) ・敬老会 ・おやつ作り ・生花教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回運営推進会議 ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・小多機(桃李の里) ・褥瘡予防
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけ(買い物) ・おやつ作り ・生花教室 		<ul style="list-style-type: none"> ・消防署員による研修
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・紅葉狩り ・おやつ作り ・生花教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回運営推進会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥時、急変時の対応方法 ・感染症予防
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会(1名) ・クリスマス会 ・おしるこ会 ・おでかけ(玉島へドライブ) ・おやつ作り ・生花教室 		<ul style="list-style-type: none"> ・小多機(縁) ・事故防止

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・初詣 ・おやつ作り ・生花教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回運営推進会議 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分祭 ・おやつ作り ・生花教室 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り ・おでかけ(農マル園芸) ・おやつ作り ・生花教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回運営推進会議 ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・小多機(愛家里)

5. 各種会議開催計画

愛家里会議	毎月1回
サービス提供体制強化会議	毎月1回
週間ミーティング	毎週1回
運営推進会議	2ヶ月に1回

平成 29 年度 事業報告

セレーノほのぼの保育園

1. 入所者数等

セレーノほのぼの保育園

入所定員 12 名

定員数 12 名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域枠	1・2歳	4名	4名	4名	4名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名
	乳児	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名
従業員枠	1・2歳	3名	4名	4名	4名	4名	4名	4名	5名	5名	5名	5名	5名
	乳児		1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	2名
合計		10名	12名	12名	12名	11名	11名	11名	12名	12名	12名	13名	13名
入所率		83%	100%	100%	100%	92%	92%	92%	100%	100%	100%	100%	100%
総社市 待機児童数 <small>(うち3歳未満児)</small>		0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)	2名 (2名)	4名 (4名)	4名 (4名)	5名 (5名)	5名 (5名)	6名 (6名)	13名 (13名)	23名 (23名)

2. 重点実施項目

「ご利用者の満足度アップに努める」

3. 平成28年度重点実施項目目標達成率

	重点項目	数値目標	実績	達成率
1	老人福祉施設との併設を活かし、交流活動を行う	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスの利用者様と朝夕の挨拶を交わす。花の苗の植え付けを一緒に行った。 ・園庭にて特養ご利用者とのふれあい、ショートステイご利用者との合同運動会の開催、ケアハウスご利用者とのふれあい、ハロウィンで各部署を回り、お菓子をもらう。 	100%
2	安心して預けて頂けるよう保護者との連携を密にとる	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時に一日の様子や体調の変化、成長の姿などをお伝えしたり、連絡ノートに記入し、情報を共有するようにした。 	100%
3	年齢・発達に応じた、季節を感じられる製作活動の取り組み	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・各年齢に合わせた作業を提供し、毎月実施 	100%
チャレンジ目標				
1	季節を感じられる壁面装飾作りを行う	年10回	<ul style="list-style-type: none"> ・4,6,7,9,10,11,12,1,2,3月に実施 	100%
2	花や野菜の栽培、収穫を行う	年2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマトの苗を植え、収穫して食べたり、クッキングを実施 ・12月にデイサービスのご利用者とは花の苗の植え付けをした。 	100%

4. 行事实施状況

月	行事
4	入園のお祝い
5	
6	
7	たなばた会、クッキング、夏祭り
8	クッキング
9	敬老会、クッキング
10	運動会、ハロウィン
11	
12	クリスマス会
1	
2	クッキング
3	お別れ遠足、おゆうぎ会、お別れ会

5. 職員研修実施状況

平成 29 年度職員研修実施状況	
月	研修名
4	
5	消防署員による心肺蘇生・AED
6	
7	感染症
8	岡山かなりや学園見学、児童虐待
9	褥瘡予防、カプラ
10	八幡乳児保育園見学
11	誤嚥、ぽっ歩保育園見学、感染症
12	発達障害、事故防止
1	発達障害
2	
3	

6. 各種会議・委員会開催状況

名称	開催月	内容
職員会議	毎月1回	月の反省、来月の予定、行事の内容、その他通常業務での変更点など

平成29年度事業報告書

福祉有償運送

1 登録内容（平成30年3月31日現在）

(1) 福祉車両 3台

(2) 運転者 8名

(3) 登録者 84名（身体障害者 7名 要介護認定者 38名 要支援者 38名
その他障害者 1名）

2 運行内容

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
利用者 (延数)	15	13	18	12	9	12	18	12	9	9	12	9	148	
総運行 距離 (km)	167	150	279	138	79	113	159	97	118	109	127	79	1615	
用途	通院	14	10	17	10	7	12	14	10	9	6	10	8	127
	通学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	買物等	1	3	1	2	2	0	4	2	0	3	2	1	21

平成29年度事業報告

介護職員初任者研修事業

1 事業の目的

高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した質の高い介護を提供するため、必要な知識、技術を有する介護職員の養成を図るとともに、地域住民に資格取得の機会を提供することで、福祉に対する興味、関心をもつていただき、地域福祉の向上を図る。

2 研修の名称

セレーノ総社介護職員初任者研修 通学制

3 研修の概要

(1) 主な事業実施場所

総社市久代5127 特別養護老人ホームシルバーセンターセレーノ総社

(2) 受講定員 10名

(3) 修了者数 8名

(4) 修了年月日 平成29年10月29日

(5) 研修期間 平成29年5月28日～平成29年10月29日

(6) 研修時間等 研修時間 131時間 講師人数 4人